

木曽広域消防本部発足前、木曽郡の消防は長年の間、各町村に消防団を設置して、火災及びその他の災害対応に当たっていた。

昭和45年、国道19号線での交通事故をはじめとする当時の木曽郡下11ヶ町村の内、10町村におけるあらゆる救急要請に対応するため、同年9月16日に『木曽郡町村福祉衛生施設組合救急隊』が発足し、救急業務を専門的に行っていた。

その後、更なる経済発展により、建物の高層化や施設の広大化などによる防火対象物の増加、それに伴う火災現場の多様化と併せて、年々増加傾向にある救急活動に対応するためにも、専門の知識を有する『常備消防』の設立が強く求められるようになり、発足に至った。



木曽郡救急隊当時の庁舎（上松町に設置）



木曽郡救急隊の救急自動車

沿革（発足前）

社会の動き・災害等

昭和58年
(1983)

- 2月15日 木曽郡町村消防防災担当課長会議にて、消防常備化の試案について検討
試案：設置数2署（本署1・分署1）職員定数93名
- 7月15日 木曽郡消防常備化研究会にて、試案5案及び設立の計画案（昭和61年4月設立）等について検討

- 4月15日 東京ディズニーランドが開園
- 9月28日 台風10号の活発な降雨により、木曽川流域において被害をもたらす。
- 11月29日 大韓航空機撃墜事件

昭和59年
(1984)

- 3月6日 木曽郡消防常備化研究会にて、試案等について検討
試案：設置数3署（本署1・分署2）職員定数51名
- 5月30日 木曽郡消防常備化研究会にて、長野県消防防災課から消防常備化に当たっての検討事項等の説明を受ける。
- 7月27日 自治省消防庁で消防常備化あり方検討が進行中、方針の決定まで研究会開催を見合わせる旨の通知が発出

- 5月12日 日本初の衛星放送が開始
- 7月28日 ロサンゼルス五輪が開催
- 9月14日 長野県西部地震が発生震源の玉滝村において甚大な被害をもたらす。

昭和61年
(1986)

- 3月頃 木曽広域行政事務組合にて、新広域市町村圏計画の策定に伴い、広域常備消防の実現に向けた研究及び検討が再開

- 2月1日 『いじめ』が社会問題となる。

昭和62年
(1987)

- 7月14日 木曽福祉行政組合救急隊を郡内北部及び南部に分駐する案と、予防査察業務の実施の可否について検討

- 9月9日 東北自動車道が全線開通

沿 革（ 発 足 前 ）

社会の動き・災害等

昭和63年
(1988)

12月7日 木曽消防協会理事会にて、協会長から消防常備化の推進について要請を受ける。

9月17日 ソウル五輪が開催

昭和64年
平成元年
(1989)

1月13日 木曽郡町村会にて、消防常備化推進研究会の設置が決定

1月8日 元号が『平成』へ改元

2月1日 木曽郡消防常備化推進研究会が開催

3月29日 少年犯罪が社会問題となる。

案：設置数3署（本署1・分署2）職員定数55名

4月1日 消費税法が施行（税率3%）

平成3年4月1日業務開始

常任幹事（木曽福島町・南木曽町・木祖村・開田村・町村会）を選出

2月14日 町村会にて、北分署及び南分署の同一年度の設立が決定
常任幹事会にて、署の設置場所の策定を消防科学総合センターへ委託が決定

3月9日 研究会会長から、消防常備化準備事務局の体制が提案
案：準備事務局設置時期、平成元年6月頃

5月 郡内各町村と庁舎設置場所候補地及び出動体制等を協議

8月2日 消防常備化準備事務局が設置

10月26日 木曽福祉行政組合救急隊と会合を開催

12月10日 消防職員第一次試験を実施

平成2年
(1990)

1月21日 消防職員第二次試験を実施

3月18日 兵庫県長崎屋尼崎店建物火災

3月2日 自治省消防庁から政令指定内示を受ける。

5月 木曽文化公園が開館

4月2日 常備消防準備室が発足、新規採用22名

11月17日 雲仙普賢岳が噴火活動を開始

木曽福祉行政組合救急隊13名の身分移管

自治省消防庁から政令指定告示（自治省告示第67号）

5月7日 長野県消防学校初任科へ28名入校

9月13日 木曽広域消防本部・木曽消防署庁舎新築工事起工式

10月1日 広域消防緊急情報システム整備事業の議会議決を得る。
広域消防緊急情報システム整備事業が着手

10月16日 木曽消防署南分署新築工事起工式

10月19日 木曽消防署北分署新築工事起工式

11月1日 長野県消防学校初任科卒業式

11月7日 中津川市消防本部と消防指令電話回線設置の打合せ

11月19日 消防本部発足に伴う消防協会との打合せを実施



消防本部庁舎建設地の地鎮祭の様子

平成3年
(1991)

2月15日 恵北消防本部、山口村との協定について打合せ

2月28日 新幹線300系試作車が、最高速度

2月20日 中津川市民病院及び坂下病院と救急業務に関する打合せ

325.7km/hを記録

2月21日 塩尻病院、上條記念病院、桔梗ヶ原病院との救急業務に関する打合せ

3月頃 バブル景気が崩壊

2月25日 各構成町村総務課長、消防団長、消防主任と合同打合せ



平成3年
(1991)

3月7日 救急自動車受納式〔全国農業協同組合連合会 寄贈〕



3月12日 消防ポンプ自動車4台を納車

3月28日 中津川市消防本部と、山口村における救急、救助業務協定書を締結

3月29日 木曽広域消防本部・木曽消防署開庁式

4月1日 木曽広域消防本部が発足

消防職員条例定数を55人とする。

新規採用職員7名、職員数51名体制【1本部・1署・2分署】

中津川市消防本部との救急、救助業務協定書に関する覚書を交換



5月18日 木曽消防署北分署が竣工【木祖村藪原873番地1】



5月30日 木曽消防署南分署が竣工【南木曽町読書3680番地1】

6月10日 木曽消防署救急分遣所設置に伴う三岳村事務担当者会議を開催

6月28日 木曽広域消防本部・木曽消防署が竣工【木曽福島町3737番地】

7月10日 木曽広域消防本部、全庁舎合同竣工式

8月頃 台ヶ峰無線中継所建設工事が着手

8月22日 消防指令車受納式〔日本損害保険協会 寄贈〕
木曽消防署へ配備



10月11日 救助工作車両受納式〔日本損害保険協会 寄贈〕
木曽消防署へ配備

4月23日 救急救命士法が公布

5月14日 信楽高原鉄道列車衝突事故

6月3日 雲仙普賢岳噴火災害



組合長による点検



建設当時の消防本部庁舎



寄贈された消防指令車

沿 革

平成4年
(1992)

- 3月17日 木曽郡下防火パレードを実施
- 3月27日 救急自動車受納式〔農業協同組合連合会 寄贈〕
木曽消防署へ配備
- 4月1日 新規採用職員5名、職員数55名体制
- 5月28日 乙種防火管理講習会を開催
- 6月頃 峠山無線中継所、大桑無線中継所、上松無線電波反射板の
建設工事が着手
- 6月23日 第11回長野県消防救助技術大会へ出場
- 10月6日～7日 甲種防火管理講習会を開催
- 10月22日 木曽消防署救急分遣所庁舎起工式
- 12月頃 上松無線電波反射板が完成

平成5年
(1993)

- 1月頃 広域消防緊急情報システム整備事業、無線中継所（峠山
中継所・台ヶ峰中継所・大桑中継所）が完成
- 1月 救急自動車納車、北分署へ更新配備
- 2月16日 危険物運搬車両路上検査を実施



- 2月28日 広域消防緊急情報システム整備事業が竣工



- 3月20日 木曽消防署救急分遣所庁舎竣工【三岳村9125番地4】
- 3月 救急自動車受納式〔農業協同組合連合会 寄贈〕救急分遣
所へ配備
- 4月1日 木曽消防署救急分遣所業務開始【1本部・1署・2分署・1分遣所】
消防職員条例定数を58人とする。
新規採用職員3名、職員数58名体制

平成6年
(1994)

- 3月25日・28日 応急手当指導員講習会を開催
- 3月28日 中津川市消防本部と消防相互応援協定を締結
- 4月1日 新規採用職員3名、職員数59名体制
- 11月16日 南木曽町で大型観光バス事故が発生(死傷者47名)

社会の動き・災害等

- 5月6日 県立木曽病院が移転改築後、診
療を開始
- 7月25日 バルセロナ五輪が開催
- 10月16日 千葉県袖ヶ浦製油所爆発火災



寄贈された救急自動車

- 3月25日 長野自動車道が全面開通
- 5月15日 プロサッカーリーグ『Jリー
グ』が開幕
- 6月29日 皇太子徳仁親王殿下ご成婚
- 7月12日 北海道南西沖地震

平成7年
(1995)



1月21日～26日

阪神・淡路大震災発生に伴い、救助隊1隊4名を派遣

4月3日 新規採用職員2名、職員数61名体制



8月9日 救急自動車納車、南分署へ更新配備

9月11日 消防指令車受納式〔日本消防協会 寄贈〕北分署へ配備

平成8年
(1996)

4月18日～23日 林野火災予防パレードを実施

6月2日 木曾福島町で連続放火事件が発生

7月31日 消防指令車納車、南分署へ新規配備

11月22日 消防本部初の救急救命士資格を取得

12月6日～16日

長野県小谷村蒲原沢で土石流災害発生に伴い、長野県消防相互応援隊(指揮隊及び救助隊、延べ39名)を派遣

平成9年
(1997)

4月1日 新規採用職員2名、職員数59名体制

5月7日 消防職員委員会の運用を開始

5月 査察広報車納車、南分署へ更新配備

8月29日 高規格救急車導入に伴い、恵北消防本部の視察を実施

12月15日 高規格救急自動車納車、木曾消防署へ新規配備

平成10年
(1998)

2月2日 高規格救急自動車の試験運用を開始

長野県立木曾病院と、救急救命士が行う救急救命処置に対する医師の指示等に関する協定書を締結

2月5日 長野冬季五輪開催に伴い、職員2名を派遣

4月1日 新規採用職員1名、職員数59名体制

救急救命士業務及び高規格救急自動車の運用開始

1月17日 阪神・淡路大震災

3月30日 地下鉄サリン事件

6月30日 緊急消防援助隊制度が創設

2月10日 北海道豊浜トンネル崩落事故

4月12日 木曾養護学校が開校

7月19日 アトランタ五輪が開催

12月6日 蒲原沢土石流災害が発生、緊急消防援助隊の初出場となる。

4月1日 消費税率、5%へ改定

9月25日 長野県消防防災ヘリ『アルプス』が就航



2月2日 郵便番号が7桁になる。

2月7日 長野冬季五輪が開催

12月17日 国道19号線上松バイパスが開通

沿 革

社会の動き・災害等

平成11年
(1999)

- 2月1日 木曽福島町で建物火災が発生し、建物5棟が焼損
- 4月1日 木曽広域連合が設立
設立に伴い、木曽広域行政事務組合から身分移管
消防職員条例定数を60人とする。
新規採用職員1名、職員数60名体制
- 5月13日 王滝村で山林火災が発生。長野県及び愛知県の消防防災
への出場を要請し、消火活動にあたる。(焼損面積約12ha)

平成12年
(2000)

- 3月 高規格救急自動車納車、南分署へ新規配備
- 3月16日 大桑村で大型観光バス事故が発生(死傷者21名)
- 3月29日 国民健康保険坂下病院(現：坂下診療所)と、救命士業務
に係る救急救命処置等に関する協定書を締結
- 3月30日 中津川市消防本部と、救急、救助業務協定書及び覚書の
廃止に伴い、消防相互応援協定書を再締結
- 7月31日 飯田広域消防本部と国道256号線清内路トンネル警防計
画を作成し、確認書を取り交わす。
- 10月2日～5日 緊急自動車安全運転研修に参加

平成13年
(2001)

- 5月30日 消防職員条例定数を66人とする。
- 9月1日 益田広域消防本部(現：下呂市消防本部)と消防相互応援
協定書を締結
- 10月 高規格救急自動車納車、北分署へ新規配備

平成14年
(2002)

- 3月21日 松本市浅間温泉で大規模山林火災発火に伴い、長野県消防
相互応援隊(消防隊1隊4名)を派遣
- 4月1日 新規採用職員2名、職員数61名体制



11月12日 救助工作車納車、木曽消防署へ更新配備

- 1月1日 携帯電話・PHSの電話番号が
11桁になる。
- 8月14日 神奈川県玄倉川水難事故
- 10月30日 上信越自動車道が全線開通

- 3月8日 地下鉄日比谷線列車脱線事故
- 3月31日 有珠山噴火災害
- 5月3日 西鉄バスジャック事件
- 6月26日 三宅島噴火
- 9月15日 シドニー五輪が開催
- 10月6日 鳥取県西部地震

- 3月24日 芸予地震
- 9月1日 新宿歌舞伎町雑居ビル火災
- 9月4日 東京ディズニーシーが開園

- 2月8日 ソルトレークシティ冬季五輪が
開催。王滝村出身の越 和弘選手
がボブスレーに出場し、8位に
入賞する。
- 5月31日 FIFAワールドカップが日韓同時
で開催
- 10月1日 三菱重工業長崎造船所火災

治 革

社会の動き・災害等

平成15年
(2003)

- 3月 消防本部公用車納車、木曾消防本部へ更新配備
- 4月1日 新規採用職員4名、身分移管1名、職員数65名体制
- 7月1日 査察車納車、北分署へ更新配備
- 8月30日 南木曾町走行中のJR中央西線列車内にて、国内初となる自損放火事件が発生(死者1名)



- 10月23日 指揮隊車納車、木曾消防署へ更新配備



- 11月26日 高規格救急自動車納車、救急分遣所へ新規配備

平成16年
(2004)



- 3月7日 南木曾町で、民間報道ヘリコプター墜落事故が発生(死者4名)



- 4月 消防本部庁舎北側に、警防資器材倉庫を建設
- 5月21日 査察車納車、木曾消防署へ更新配備
- 5月27日 日義村で建物火災が発生し、建物9棟が焼損
- 6月4日 木祖村でガスボンベ爆発事故が発生(負傷者1名)
- 7月1日 下呂市消防本部(旧：益田広域消防本部)と、町村合併による新市発足及び消防本部名変更に伴い、消防相互応援協定書を再締結
- 9月20日 資器材搬送者納車、木曾消防署へ新規配備
- 10月25日～28日

新潟県中越地震発生に伴い、緊急消防援助隊(救助隊、救急隊及び支援隊、延べ12名)を派遣

新型肺炎SARSが、アジアやカナダを中心に32の国と地域へ感染拡大

- 3月26日 包括的指示下における救急救命士の除細動器の使用が可能になる。

- 8月14日 ブリヂストン栃木工場火災
- 9月16日 愛知県名古屋ビル立てこもり放火事件

- 3月23日 救急救命士による気管挿管の実施が可能になる。

- 4月1日 消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化

- 7月1日 AED(自動体外式除細動器)の一般市民の使用が承認

- 8月13日 アテネ五輪が開催

- 10月23日 新潟県中越地震

- 12月13日 埼玉県ドン・キホーテ放火事件



資器材搬送車



沿 革

平成17年
(2005)

- 2月7日 山口村の越県合併に伴い、中津川市消防本部へ防火対象物等の移管事務引継ぎを実施
- 2月10日 檜川村の塩尻市編入合併に伴う、塩尻市檜川地区の消防事務の受託が、議会で可決
- 2月13日 山口村の越県合併に伴い、中津川市消防本部へ119番通報切替えを実施
- 5月6日 査察車納車、南分署へ更新配備



- 6月7日 水難救助活動の効率化のため、救命ゴムボートを整備



- 6月13日 大規模災害発生時及び緊急消防援助隊派遣先野営等での使用のため、エアータントを整備

平成18年
(2006)

- 1月24日 国道361号線伊那木曽連絡道路(権兵衛トンネル)の開通に伴い、伊那木曽救急医療体制調整会議を実施
- 1月27日 権兵衛トンネル防災訓練を伊那消防組合消防本部(現：上伊那広域消防本部)と合同実施



- 3月 水難救助隊が発足
- 4月3日 広域連合内異動により、消防本部へ1名身分移管、職員数64名体制
- 7月 木曽郡内各地で、活発な梅雨前線の降雨による被害が発生
- 7月30日 王滝村で、長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を開催
- 10月23日 長野県消防相互応援隊が木曽町に集結し、野営訓練を実施
- 10月24日 長野県総合防災訓練・長野県消防相互応援隊合同訓練を木曽町で実施
- 11月21日 聴覚障がい者を対象とした防災訓練を実施

社会の動き・災害等

- 2月13日 山口村が岐阜県中津川市へ越県合併
- 2月17日 中部国際空港が開港
- 3月10日 救急救命士による薬剤投与の実施が可能になる。
- 3月25日 愛知万博『愛・地球博』が開幕
- 4月1日 檜川村が塩尻市へ編入合併
- 4月25日 J R西日本福知山線脱線事故
- 7月1日 信州ドクターヘリ佐久の運航が開始
- 10月18日 予防技術資格者制度が制定
- 11月1日 木曽福島町・日義村・開田村・三岳村の合併により、木曽町が誕生
- 12月25日 J R東日本羽越線脱線事故

- 2月4日 国道361号線伊那木曽連絡道路権兵衛トンネルが開通
- 2月10日 トリノ冬季五輪が開催。王滝村出身の越和宏選手(ボブスレー)と木曽町出身の千村格選手(スノーボードクロス)が出場
- 3月20日 第1回WBCで日本優勝
- 6月1日 新築住宅における住宅用火災警報器の設置義務化
- 7月 平成18年7月豪雨災害

沿 革

社会の動き・災害等

平成19年
(2007)

- 2月7日 木曽広域連合消防広域化検討委員会を設置
- 3月19日 消防ポンプ自動車納車、北分署へ更新配備
- 8月10日 緊急消防援助隊災害派遣用資器材等保管のため、警防資器材倉庫を消防本部庁舎西側に建設



- 12月15日 おんたけ2240スキー場ゴンドラ脱索事故が発生。長野県消防相互応援隊を要請し、90名を救助

- 1月20日 兵庫県カラオケボックス火災
- 7月16日 新潟県中越沖地震
- 10月1日 緊急地震速報の一般提供が開始



ゴンドラからの救出の様子

平成20年
(2008)

- 3月26日 高規格救急車受納式〔日本損害保険協会 寄贈〕南分署へ更新配備



- 4月1日 新規採用職員 1 名、職員数64名体制
中农信地区消防広域化推進事務局へ 1 名派遣
- 9月22日 中农信地域消防広域化協議会が設立
- 12月15日 新型インフルエンザ対応訓練を実施
- 12月29日 王滝村で建物火災が発生、建物 7 棟を焼損(死者 2 名)

- 6月14日 岩手・宮城内陸地震
- 7月11日 iPhoneの国内発売開始
- 8月8日 北京五輪が開催
- 10月1日 大阪府個室ビデオ店放火事件

平成21年
(2009)

- 4月1日 新規採用職員 2 名、職員数66名体制
- 9月11日 事務連絡車受納式〔木曽危険物安全協会 寄贈〕木曽消防署へ新規配置
- 12月2日 国道256号清内路トンネル防災訓練を飯田広域消防本部と合同実施
- 12月24日 消防ポンプ自動車納車、南分署へ更新配備



- 3月19日 群馬県渋川市老人ホーム火災
- 5月21日 裁判員制度が開始
- 7月5日 大阪府パチンコ店放火事件
- 9月11日 岐阜県消防防災ヘリ墜落事故



寄贈された事務連絡車

平成22年
(2010)

- 7月21日 中农信消防広域化ファイヤーマンズミーティングに参加



- 11月25日 高規格救急自動車納車、木曽消防署へ更新配備

- 2月12日 バンクーバー冬季五輪が開催
王滝村出身の越 和宏選手(ボブスレー)が出場
- 7月25日 埼玉県消防防災ヘリ墜落事故
- 8月18日 海上保安庁ヘリ墜落事故



治 革

社会の動き・災害等

平成23年
(2011)

3月11日～28日

東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊(救助隊及び支援隊、延べ34名)を派遣



3月28日 高規格救急自動車受納式〔J A 共済 寄贈〕

北分署へ更新配備



4月1日 新規採用職員 2 名、職員数66名体制

4月24日 木曾町で建物火災が発生、建物 4 棟を焼損

8月3日 三重県桑名市で開催、木曾川水系水質保全連絡協議会
水質事故対策訓練に出席



12月 本部公用車納車、消防本部へ更新配備

3月11日 東日本大震災

3月12日 長野県北部地震

6月1日 すべての住宅において住宅用火災警報器の設置義務化

6月24日 小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産に登録

10月1日 信州ドクターヘリ松本の運航が開始



木曾町建物火災現場

平成24年
(2012)

2月20日 水槽付消防ポンプ自動車納車、木曾消防署更新配備



3月1日 塩尻市檜川地区救急救助訓練を、松本広域消防局及び信州ドクターヘリと合同実施

3月8日 消防救急無線デジタル化基本設計が完了

4月2日 新規採用職員 1 名、職員数67名体制

4月6日 木曾町日義で建物放火事件が発生

5月31日 通信指令室にJ-ALERTを設置

7月11日 緊急消防援助隊支援資器材として、エアートントを総務省消防庁より無償貸与を受ける

9月9日 塩尻市贄川地区合同連携訓練を、松本広域消防局及び塩尻市消防団と合同実施

10月17日 多目的支援車両納車、木曾消防署へ新規配備

10月30日 上松町で大型観光バス事故が発生(負傷者42名)

2月29日 東京スカイツリーが完成

4月29日 関越自動車道大型バス事故

7月27日 ロンドン五輪が開催

12月2日 笹子トンネル天井板落下事故



塩尻市贄川地区合同訓練



多目的支援車

治 革

平成25年
(2013)

- 1月23日 地上アナログテレビ放送の終了に伴い、開田及び南木曾テレビ中継局の局舎等を受納。消防救急デジタル無線局舎として活用〔株式会社長野放送・株式会社テレビ信州・信越放送株式会社・長野朝日放送株式会社 寄附〕
- 3月 消防救急無線デジタル化工事及び高機能消防通信指令設備整備事業が起工
- 4月1日 新規採用職員2名、職員数66名体制
- 4月9日 塩尻市木曾平沢地区で建物火災発生に伴い、松本広域消防局に隣接消防応援を要請する。(建物2棟を焼損)
- 7月31日 大規模災害対応強化事業として、消防指令車2台を納車北分署及び南分署へ更新配備

平成26年
(2014)

- 3月11日 消防救急無線デジタル化工事及び高機能消防通信指令設備整備事業が竣工
新・消防指令システムの運用開始



- 4月1日 新規採用職員2名、職員数67名体制
- 7月9日 南木曾町土石流災害が発生(死傷者4名)



- 8月6日 上松町で建物火災が発生、8棟を焼損
- 8月29日 消防職員条例定数を67人とする。
- 9月27日 御嶽山噴火災害が発生(死者58名、行方不明者5名)



- 11月22日～23日
白馬村で神城断層地震発生に伴い、長野県消防総相互応援隊(救助隊5名)を派遣

社会の動き・災害等

- 6月22日 富士山が世界遺産に登録
- 6月30日 京都府福知山市花火大会火災
- 9月7日 2020年の東京五輪開催が決定
- 12月4日 和食がユネスコ無形文化遺産に登録



消防指令車

- 2月15日 葛西紀明選手(スキージャンプ)が、ソチ冬季五輪にて最年長でメダルを獲得する。
- 4月1日 消費税率、8%へ改定
救急救命士の処置拡大、特定2行為の実施が可能になる。
- 5月23日 指導救命士制度が開始
- 6月21日 富岡製糸場が世界文化遺産に登録
- 8月20日 広島市土砂災害



上松町建物火災



白馬村での検索活動



治 革

平成27年
(2015)

3月20日 緊急消防援助隊設備整備として、高規格救急自動車納車
救急分遣所へ更新配備



4月1日 新規採用職員 1 名、職員数67名体制
長野県消防学校へ 1 名長期派遣
高山市消防本部と消防相互応援協定書を締結

6月10日 御嶽山噴火災害再捜索合同調査へ職員派遣

7月12日 御嶽山噴火災害再捜索先遣隊へ職員派遣

7月25日 御嶽山噴火災害再捜索シェルター 2 基の設置活動を実施

7月29日～8月6日

御嶽山噴火災害再捜索活動を実施

岐阜県捜索隊により、行方不明者 1 名を発見



8月7日 御嶽山噴火災害再捜索シェルター解体撤収活動を実施



10月15日 長野県木曾保健所と、エボラ出血熱等の移送に関する協
定書を締結

平成28年
(2016)

2月15日 長野県警察合同で、氷下潜水訓練を実施



4月1日 新規採用職員 2 名、職員数68名体制

6月14日～17日 名古屋市消防局水難救助訓練視察研修を実施

6月28日 松本広域消防局と、長野県消防相互応援協定に基づく現
地研修として、松本市奈川地区の警防視察研修を実施

10月15日～16日 中部ブロックDMAT実動訓練に参加

社会の動き・災害等

3月14日 北陸新幹線が延伸開業、東京－
金沢間を結ぶ

5月17日 神奈川県川崎市簡易宿泊所火災

6月30日 東海道新幹線火災事件



再捜索合同調査の様子



シェルター資材の搬入作業

1月15日 軽井沢スキーバス転落事故

6月22日 18歳選挙権の施行

8月5日 リオデジャネイロ五輪が開催

12月22日 新潟県糸魚川市大規模火災

治 革

社会の動き・災害等

平成29年
(2017)

- 2月21日 御嶽山火山防災学習会へ出席
- 2月24日 長野市消防局及び長野県警察合同で、氷下潜水訓練を実施
- 3月10日 消防ポンプ自動車納車、北分署へ更新配備
- 4月3日 新規採用職員2名、職員数66名体制
- 6月25日 長野県南部を震源とする震度5強の地震が発生
建物、道路等に被害を受ける。
- 8月1日 査察車納車、木曽消防署へ更新配備
- 8月22日～25日 機関員技術審査会を実施
- 10月20日 第13回関東地区消防職団員綱引き大会を木曽町で開催



- 11月9日 南木曽岳で、長野県警察山岳救助合同訓練を実施
- 11月12日 消防フェア2017を開催



- 12月20日 メール119聴覚障がい者等緊急通報システムを導入

平成30年
(2018)

- 1月20日 木曽地区山岳遭難防止対策協会合同で、冬期山岳遭難事故対応訓練を実施
- 1月26日 救助訓練施設整備事業として、救助技術大会はしご登はん訓練施設の新設及びほふく救出訓練施設の新規移設工事が竣工



- 4月2日 新規採用職員1名、職員数66名体制
- 6月26日 御嶽山火山防災訓練を実施
- 8月29日 大規模災害時における生コン組合との調整会議を開催
- 10月10日 大規模災害発生時の消防水利確保協定を締結
- 11月11日 消防フェア2018を開催

- 3月5日 長野県消防防災ヘリ墜落事故
- 3月27日 栃木県那須町雪崩事故
- 4月1日 レゴランドが開園
- 11月8日 群馬県上野村ヘリ墜落事故



査察車

- 6月 西日本豪雨災害が発生
- 7月14日 御嶽海関が、大相撲名古屋場所にて初優勝を飾る。
- 8月10日 群馬県消防防災ヘリ墜落事故
- 9月6日 北海道胆振東部地震
- 10月6日 築地市場閉鎖、豊洲市場へ移転



御嶽山火山防災訓練

沿 革

平成31年
(2019)

- 4月1日 新規採用職員3名、職員数68名体制
長野県消防防災航空隊へ1名派遣
- 4月25日 災害医療に係る消防本部当担当者会議へ出席

令和元年

- 5月9日～6月20日 指導救命士養成研修へ派遣
- 8月7日 女性のための職場体験会を開催



- 8月25日 岡山県開催、第48回全国消防救助技術大会はしご登はん訓練に出場
- 9月22日 木曾警察署及び木曾地区山岳遭難防止対策協会との合同山岳救助訓練を実施
- 10月6日 消防フェア2019を開催

10月13日～16日

東日本台風災害発生に伴い、長野県消防相互応援隊(救助隊、救急隊及び支援隊、延べ35名)を長野市へ派遣

11月24日～29日

違反是正実務研修のため、岡崎市消防本部へ1名出向

12月1日 消防職員条例定数を67人とする。

令和2年
(2020)

- 1月6日 多目的支援車納車、木曾消防署へ新規配備
- 2月21日 長野県庁で開催、障がい者活躍推進計画作成説明会に出席
- 2月25日 オリンピック聖火リレー実行委員会会議に出席
- 2月28日 長野市消防局で開催、女性消防吏員研修会に参加
- 3月1日 長野県松本保健所と、エボラ出血熱患者等の移送に関する協定書を締結
- 4月1日 新規採用職員2名、職員数68名体制
消防指令システム部分更新事業が起工
- 9月15日 消防庁舎改修工事業が起工
- 10月9日 女性消防吏員活躍推進研修会を実施
- 10月21日 長野県消防学校で行うビデオ喉頭鏡研修へ職員出向
- 12月1日 消防職員条例定数を72人とする。

社会の動き・災害等

5月1日 元号が『令和』へ改元

7月18日 京都アニメーション放火事件

10月1日 消費税率、10%へ改定
軽減税率制度が開始

10月20日 台風19号の活発な降雨により、
権兵衛トンネル伊那市側入口の
橋台の土砂が崩落。長期的な通
行規制となる。

10月31日 沖縄県首里城火災



第48回全国消防救助技術大会 岡山

一般財団法人 全国消防協会



東日本台風災害による、長野市派遣

3月 新型コロナウイルスが世界的に
流行する。

3月24日 東京五輪の開催延期が決定

7月 令和2年7月豪雨災害

12月24日 木曾川右岸道路が開通



多目的支援車



女性消防吏員活躍推進研修会



令和3年
(2021)



- 2月18日 消防指令システム部分更新が竣工
- 3月1日 南木曾町聖火リレー現地対策本部会議に出席
- 3月28日 消防庁舎改修工事事業が竣工
女性消防職員専用施設を増築



- 4月1日 新規採用職員3名、職員数68名体制
消防本部初の女性消防吏員(救急救命士)を採用
緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練事務局へ1名派遣
- 4月2日 南木曾町聖火リレー特別警戒を実施
- 7月12日~20日
静岡県熱海市土石流災害発生に伴う緊急消防援助隊(救急隊、延べ12名)を派遣



- 7月30日 Web会議システム機材を導入
- 8月1日 NET119緊急通報システムの運用開始
- 8月14日 活発な降雨により、管轄地域内において土石流災害等が多発し、主要道路及び鉄道線の寸断などの被害が発生する。



上松町で発生した土石流災害

2月17日 新型コロナウイルスのワクチン接種が開始する。

4月3日 長野県消防防災ヘリ『アルプス』の運航再開



7月3日 静岡県熱海市土石流災害

7月23日 東京五輪が延期開催